

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科/電子工学コース											
キャリアデザイン2											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	森田 秀之			実務 経験	無	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
臨床工学の分野において30年間学生の指導にあたる。日本臨床工学技士教育施設協議会委員として約20年間従事。主な科目として医用電子工学、医用治療機器学、生体計測装置学、医用機器安全管理工学、医用機器実習などに携わる。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、社会的活動が協働の場であることを理解し、これまで体験してきた競争の場とは異なる考え方や能力が求められることを意識できるようになる。21世紀の「知識基盤社会」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。											
到達目標											
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の「ジェネリックスキル」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する レポート 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
キャリアサポートブック（本校出版）*入学時に配布											
回数	授業計画										
第1回	学生と社会人の違いを認識する 専門学校で求められることと社会が必要としていることを理解する										
第2回	業種と企業について(1) 人に対するサービスを中心に業種と企業について理解する										
第3回	業種と企業について(2) 事物に対するサービスを中心に業種と企業について理解する										
第4回	職種について(1) 自分の生活との関わりから職種を理解する										
第5回	職種について(2) 職業の意味と多様性について理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電子工学コース	
キャリアデザイン2	
第6回	社会に出てから必要な力を養う(1) 読んで理解する力を養う
第7回	社会に出てから必要な力を養う(2) 聴いて理解する力を養う
第8回	社会に出てから必要な力を養う(3) 話して自分を伝える力を養う